

第 12 号

あ～す・れっく

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101東京都千代田区神田小川町2-10-4F
TEL 03(3295)8551
FAX 03(3295)8552
発行人 福田啓治
編集人 佐藤和夫
印 刷 日本資源新報社

日本再生資源事業協同組合連合会（会長・福田啓介氏）では、三月二十八日午前十一時三十分より東京都千代田区西神田のバンセイホールにおいて「古紙大暴落！」と題する日資連・市民の回収機構崩壊阻止総決起大会を古紙問題市民行動ネットワークをはじめ三十八の市民団体との協賛を得て開催、全国の回収業界、市民団体より約六百名が参加した。

政界からは、大野由利子衆議院議員、河村たかし衆議院議員、大畠章宏衆議院議員（代理）はじめ各氏が、参 加した。

決起大会では、製紙メー

カーネに對して古紙品格をき過ぎた値下げの撤回を紙回収コストの保障をるとともに、国と製紙業者が、森林資源消費の抑制を古紙の使用拡大、「リサイクル五六計画」の遂行を任務を持つべきであることを訴えた。決起大会に引き続き午後二時三十分からデモ行動を開催した。

決起大会では、大会場は、責任者の倉林喜一郎部長が挨拶を述べた。「古紙品格に統一する会長の開会宣言に従事者、需給のアンバランスによる史上最最低の価格にまで落とした。平成八年の紙

支那の貿易統計によれば、支那の輸入額は、1937年は1936年の約1.5倍、1938年は1937年の約1.3倍である。このことは、支那の輸入額が、1937年と1938年にともに増加したことである。

市民団体と総決起大会 値下げ撤回、古紙_{使 用}拡大求める

古紙大暴落問題

からアイデアを集め討議していきたい。わが国の資源問題がより深刻化していく中で、回収業界の力を活用していくことが必要だと思う。

日資連総決起大会への御礼

日資連総決起大会への私達業界の組合員が取り扱う主たる商品であります古紙の価格の暴落に憂慮し、去る三月二十八日東京都神田の「神田パンセホール」において開催されました日資連総力を挙げての総決起大会は大成功裡のうちに幕を閉じました。

特にこの大会を挙行するに当たり各方面へご支援を呼び掛けましたところ一〇八件を数える企業、団体、加入組合員からカンパが寄せられ、四〇団体以上の協賛と六〇〇名以上にもおよぶ組合員の皆さんのが参加で大変心強いご支援を得られ、また私ども執行部はもとより裏方となつた青年部諸君の手際の良い準備からご参集いただいた仲間の皆さんのが決意を秘めた顔と力強いた歩みを感じていた時、責任の重さを目の当りに痛感いたしました。

田頃は、日資連の活動が各単協の最先端まで伝わらぬもとかしさと責任を感じておりました
が、いま、総決起大会へ注がれた溢れるエネルギー
が日資連へ対する期待であり、私どもの今
後の活動の糧となるものと認識致しました。
私どもの業界も厳しい環境にさらされており
ますが、これを契機に心機新たに邁進する所存
ですでの、何卒ご支援賜りますようお願ひ申し
上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

日本再生資源事業協同組合連合会

平成九年三月二十八日

労会館前までデモ行動を展開した。この間、通産省、厚生省等関係機関への陳情も行われた。

日本再生資源事業協同組合連合会・会長 福田啓治

